

施策番号	0806		
施策名	ソーシャルビジネス（社会的企業：社会問題の解決を目的として収益事業に取り組む事業体）への支援		
概要	地域活性化，少子高齢化，環境問題等の社会的課題を，経済活動を通じて解決するソーシャルビジネスが生まれる環境づくりを推進する。		
担当局・部室	産業観光局・商工部	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市商業活性化アクションプラン2011， 京都市新価値創造ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1 中小企業のソーシャルビジネスの関心度(%)	-	-	-	34	40	85.0%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1 ソーシャルビジネス（社会的企業：社会問題（まちづくり，少子高齢化，環境問題など）の解決を目的として収益事業に取り組む事業体）が育ってきている。	6 1.3%	51 10.8%	230 48.7%	120 25.4%	65 13.8%	472	d	
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							d	



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	C
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 本事業の推進は、中小企業や社会的企業家(起業家)に対して実施していくものであり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えたため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標評価については、中小企業対象のアンケート調査においてソーシャルビジネスに関心があると回答した企業が全体の3分の1を超えており、現下の社会経済情勢の中、新たなビジネスチャンスとして社会的課題をとらえている企業が多いことから、a評価となった。 ・市民生活実感評価については、社会におけるソーシャルビジネスの認知度がまだ低いため、d評価となった。総合評価は、客観指標aと市民生活実感dの間で重みづけによりB評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	24年度 予算額		
1	ソーシャルビジネス支援事業	12,108	9,953	かなり良い	産業観光局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・セミナー、相談会(サロン)、スタディツアーの開催により、ソーシャルビジネスの啓発に努め、認知度の向上を図る。

施策名	0806	ソーシャルビジネス（社会的企業：社会問題の解決を目的として収益事業に取り組む事業体）への支援				
指標名	中小企業のソーシャルビジネスの関心度（％）					
担当課	商業振興課	連絡先	2 2 2 - 3 3 4 0			
1 指標の説明						
アンケート調査においてソーシャルビジネスについての関心があると回答した中小企業の割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
産業・商業の新たな価値の創出をめざすものとして、近年注目されているソーシャルビジネスへの中小企業の関心度を示す指標			算出方法：中小企業を対象としたソーシャルビジネスに関するアンケート調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	-	34	-	40	3年後（平成26年度）の目標を50%とし、毎年5%ずつ上昇するよう目標値を設定した	85.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		50	26年度	68.0%	事業担当課で設定	目標値及び評価基準は平成23年度に実施したアンケート調査の結果を踏まえて設定した。
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		80%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。			23	24
				-	-	a